

令和4年10月26日
記者会見



鳴門市

令和4年度10月専決予算の概要

今回の補正予算は…

- ① 市独自の国の給付金対象とならない低所得世帯への生活支援
- ② 引き続き、新型コロナウイルス感染症蔓延の長期化や物価高騰等の影響を受けている子育て世帯の負担軽減



区 分	金 額 (千円)			増減率 (%)
	令和4年度	令和3年度	増 減	
当初予算額	27,777,000	29,030,000	△1,253,000	△4.3
補正前予算額	29,149,756	31,192,724	△2,042,968	△6.5
10月専決予算額	515,213	—	皆増	皆増
補正後予算総額	29,664,969	31,192,724	△1,527,755	△4.9

予算規模

5億1,521万3千円

令和4年度10月専決予算

健康福祉部 社会福祉課

予算額 4億3,451.7万円

電力・ガス・ 食料品等価格高騰緊急支援給付金

■事業概要

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯(住民税非課税世帯等)に対し、**1世帯あたり5万円**の給付金を支給します。

◆対象

令和4年9月30日(基準日)時点において本市に住民票があり、以下の項目に該当する世帯。

- ① 世帯全員の令和4年度分の**住民税均等割が非課税**である世帯
- ② 令和4年1月から12月までに家計が急変した世帯

◆支給内容

1世帯あたり5万円の給付金を支給

健康福祉部 社会福祉課

予算額 6,450万円

鳴門市生活支援特別給付金

■事業概要

国による「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」の対象にならない低所得世帯に対し、生活支援を目的とした**1世帯あたり3万円**の給付金を支給します。

◆対象

令和4年9月30日(基準日)時点において本市に住民票があり、以下の項目に該当する世帯。

- ① 令和4年度の**住民税均等割のみの課税者**で構成される世帯
- ② 令和4年度の**住民税均等割のみの課税者と均等割非課税者**で構成される世帯

◆支給内容

1世帯あたり3万円の給付金を支給

予算額 **4,027.1万円**
(歳入減額分含む)

物価高騰等に伴う 学校給食費等負担軽減支援事業

■事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響の長期化や、物価高騰等に伴う負担を軽減するため、学校給食費の免除等により小中学校に通う子どもがいる子育て世帯の支援を行います。

◆対象

- ① 市内小中学校に通う子どもがいる保護者
- ② 市外の小中学校に通う市内在住の子どもがいる保護者

◆支給内容

- ① **2か月分の学校給食費を免除**します。
- ② **子ども一人あたり1万円**を支給します。



予算額 **1,414.5万円**

高校生等応援臨時特別給付事業

■事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響の長期化や、物価高騰等の影響を受ける高校生等のいる子育て世帯の昼食代にかかる経済的負担を軽減するための支援をします。

◆対象

高校生相当の子どもを養育する世帯で、保護者の住民登録が鳴門市にあり、支給月まで引き続き住民票を有している方。養育している保護者に支給します。

◆支給内容

高校生相当の子ども一人あたり 1万円を支給

- ・コロナ禍において、テレワークをはじめ多様な働き方の普及
- ・都市部の若年層を中心に地方移住への関心の高まり



絶好の好機を逃すことなく、積極的に移住交流を促進

「半農半X」
の推進

NARUTO
3RD

統一したコンセプトで情報発信

移住専用Webサイト

移住専用Instagram

- ・本市に馴染みのないIターン、Jターンを意識したコンセプト
- ・これまで本市に関わりのなかった人も“やりがい”や“生きがい”を求めて移住してもらえれば“第3のふるさと”として温かく受け入れるというメッセージ

■半農半X特設ページ

半農半Xの提唱者塩見氏から「鳴門市における半農半Xのススメ」について寄稿

農でいうと、専門特産のなると金持とかレンコン、らっきょ、大根などに携わる方が多いといわれています。Xに関しては、鳴門の渦潮観光や四国巡礼〜七番の地での文化や観光関連の仕事、大塚国際美術館でアート関係とか、彫染とか、多様なXが生まれたら素敵です。専門教育もあるのですがXという人も多いのではないかと思います。なると金持専門のスイーツづくりやレンコン料理がXだという人があられたらいいなと思います。鳴門に移住するなかでXに出会ったり、発見することもあります。地域資源と自分資源（好きなことや得意なことなど）を組み合わせ、まだ世にないもの、未来価値、新しい魅力の創造をぜひ目指してください。みなさんの鳴門での半農半Xを応援しています！

半農半X提唱者 塩見さん

塩見 直紀（しおみ なおき）
半農半X研究会代表/情報発信力創成アドバイザー

京都府綾部市生まれ。幼少時代から父親の生き方、暮らし方として、「半農半X」コンセプトを認識。東京暮らしに「半農半Xという生き方【完全版】」「半農半Xのススメ【おもしろい】」など、執筆活動。映画、執筆、イベントにも携わる。「1人1研究社」で「天竺麩」などのコンセプトも提供。情報発信力創成アドバイザー、美術博士。



半農半Xの取組み方を紹介

1 気軽に家庭菜園

まずは家庭菜園から始めて季節に合わせた作物を育て、収穫して、食べてその違いを実感してみたいでしょうか。農付ものの物件を探して自宅で菜園を作るもよし、地域の収穫体験プログラムに参加してみるのもおすすめです。

JJA里溝 手塚り体験




新規就農に関してフローチャートでやり方や問合せ先を紹介

3 農家として独立

本格的に農業に取り組みたい！将来的には独立して就農したい！と考えている方はこちらをご覧ください。

STEP1 情報収集・イメージづくり

自分が就農する具体的なイメージを持つことが大切です。ほかの方の就農体験談や、就農に向けた具体的なステップ、手掛けたい作物、就農までの生活費の確保、農地の情報などを調べて就農プランを計画してみましょう。

<参考>

- ・全国新規就農相談センター 03-6970-1126
- ・徳島県新規就農相談センター（公財）徳島県農業開発公社 088-624-7247

STEP2 就農相談窓口

自分で作った計画が実現性のあるものなのか、継続して続けていけるかを確認するために、就農相談窓口にご相談をしましょう。

- ・徳島県新規就農相談センター（公財）徳島県農業開発公社 088-624-7247
- ・鳴門監住農業支援センター 088-692-2515
- ・鳴門市役所 農林水産課 088-684-1151



半農半X実践者2名をインタビュー

なし・さつまいも×版画家

子どもの頃から絵に夢中になり、大阪芸術大学へ進学。版画作家として制作活動に取り組みながら同大学の助手として勤務をしていた平瀬恵子さん。同僚の夫が結核で働くことになり鳴門市にUターン移住します。結婚・出産・子育てを経て、2児の母として、また半農版画家として自然に育まれたライフスタイルを送りながら、雑誌表紙や新聞コラムへの寄稿などにも取り組んでいます。

平瀬 恵子さん (41)
移住元：大阪府（Uターン）
職業：なし・さつまいも農家（カネヒファーム）／版画家

農家に生まれるも進んだアートの道

徳島県の生産者ネットワークを軸に、芸術性や職人気質を兼ね備えている鳴門の梨。シャリシャリとした歯ごたえと甘みは、品種によって違っており、種別ごとの個性があります。この「鳴門の梨」と金持でもトップクラスの梨農家と繋がる。なるる金持をつくらせているのが、カネヒファーム。特に梨は、歯ごたえがよく甘みが特徴の「幸太」、柔らかい肉質で通り落ちるほどの甘みと酸味、酸味が特徴の「豊太」、そしてさらさらとした梨肉と酸味に強い甘みを持つ「祝太」を出産しており、好評を博しています。



農とXの取組内容ややりがいについて3千字インタビュー

半農版画家！平瀬 恵子（カネヒファーム）

半農版画家 平瀬 恵子

見る YouTube

インタビューを動画化

■移住専用ウェブサイト「NARUTO. 3RD」

トップイメージ



生まれ場所でなくてもいい、
育った場所でなくてもいい、
あなたの“やりたい”を実現する“第3の場所”に。

スライドショーで風景紹介
半農半X特設ページを設置



方言や市民性について
あるあるネタとして
イラストで紹介



鳴門市移住交流PR大使

鳴門市移住交流PR大使
里崎 智也さん



僕が考える鳴門って、山も海もあって、豊富な海産物・農産物で取れるから美味しい食べ物があるって印象ですね。
あと農業が盛んで、小学校の時に学校行事で自分でまっついも買ったことありますし、親戚もまっついも・大根を作っていて農業が身近にある場所でもあります。
移住日練でみると、とにかくアクセスの良さが高い！
移住する人からしたら、いきなり田舎に行くとか都会を忘れることができないハードルがありますが、そこはなんといっても田舎の玄関口の鳴門。神戸は1時間、大阪・東京は2時間もあればついてしまいます。
物産の安さ、住みやすさ、食べ物の美味しさも求めてどこか地方を探しているなら、降りやすさという利点がある鳴門を試してもらいたいです。都会を忘れることなく、二拠点で生活しながら少しづつ自分の生活のリズムを作れるところとしては全国トップレベルの環境です。

【プロフィール】
里崎 智也（さとすぎ ともや）
1976年鳴門市大瀬町生まれ。鳴門市立高等学校卒業後、千葉大学マリアンズに入会。2004年、同大学にて社会学部社会学専攻を卒業。現在はフリーランスで活動中。

移住PR大使里崎氏
からのメッセージを掲載

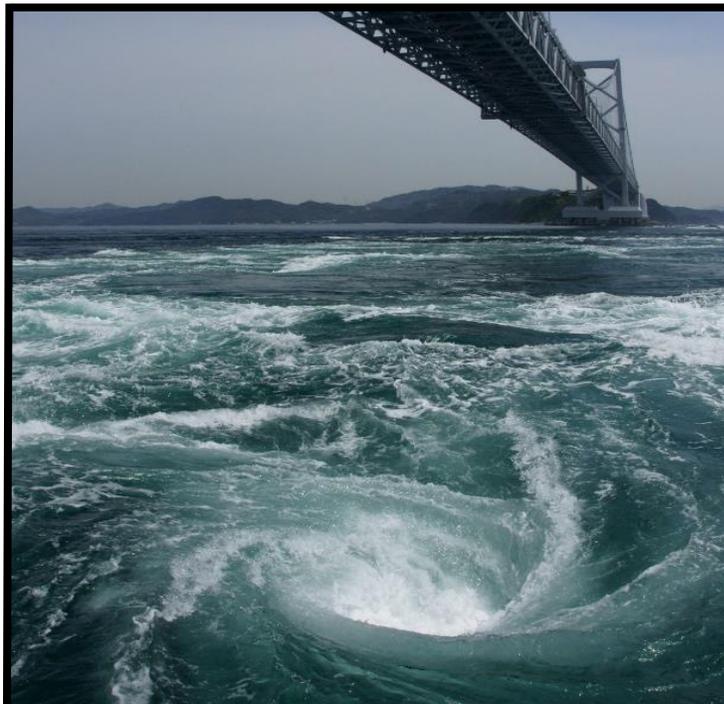
移住者へのインタビューで
移住のいきさつなどを紹介

Interview-鳴門の本音-



なるとまるごと子育て
応援パッケージ等
支援制度やくらしに
関する情報等を幅広く
リンク紹介





メインターゲットである
若年層の女性を意識して、
親しみやすい文体で
PR投稿を作成。
画像投稿以外にも15秒程度の
ショート動画も適宜投稿予定。



NARUTO.3RD 皆さんこんにちは～！！！！

まずは、鳴門ってどんなところ？何があるの？どんな食べ物が美味しいの？

そんな疑問を解決すべく、とっておきの鳴門の魅力8選を選んでみました🍷🍷🍷

これから第8回にわたって鳴門の魅力を紹介していきますっ

👉👉

その名も「What's Naruto?」企画👉

第一弾は.....

イタリアのメッシーナ海峡、カナダのセイモア海峡とならんで“世界三大潮流”の一つといわれている『鳴門の渦潮』です🌊

【Point👉】

✔️ 最も良い観潮の時期は3月下旬から4月下旬

✔️ 1日のうちで潮流が最速となる時間帯に最も迫力ある渦潮が発生！見頃の時間は「潮見表」でご確認ください👁️👁️

※ 潮の流れない時間帯には渦潮を見ることはできないのでご注意ください⚠️

✔️ 観潮施設「渦の道」では450mの遊歩道と渦潮展望室を設置されており、渦潮と大鳴門橋の体験見学ができます👉
また、観潮船に乗ることで近くで迫力満点の渦潮を見ることができると是非ご利用ください👉

大学生と考える「半農半X」ツアー

鳴門市 半農半X ツアー

5人×5チーム
チームビルディング

鳴門の「半農半X」
を考える「なるコン」
の開催

ライフスタイル
それは人生のテーマ
昨日までの当たり前が
今日変化していくこの時代に
あなたはどのような生き方を望みますか？
この1泊2日のツアーで皆様は
「半農半X」という新たな生き方に出会い
「鳴門市」という新たな街に出会い
自分のライフスタイルについて考えるでしょう
街を知り、肌で感じ、仲間と語り合いながら
半農半Xができる鳴門市になれるよう
一緒にまちづくりを考えましょう
くれぐれも目一杯楽しむことをお忘れなく

日時:令和4年10月29日(土)・30(日) 1泊2日

参加:県内大学生5名・関西圏大学生20名の合計25名

企画・運営:学生団体LIP.



INVITATION



鳴門市は全国的にブランド力のある農業と、自分のやりたい仕事、やりがいを組み合わせた新しいライフスタイル「半農半X」を新たなコンセプトに打ち出しました。

ところが、メインターゲットである関西圏の都市部在住の20-30代にウケる体験プログラムやリーチの仕方がなかなかできていない。

制限時間は24時間。
鳴門市長になった“あなた”はどうしますか？

MISSION

- ・「半農半X」をコンセプトに都市部のフリーランス・テレワーカーを移住させるために、受入プログラムと集客方法を提案せよ
- ・鳴門市に向いている「半農半X」のカタチを提案せよ

INFORMATION

- ・鳴門市への移住は大阪・兵庫・香川が多い。最も多いのは徳島県内からの移住者。
- ・大阪2時間、東京移動30分という四国一の立地で、車で1時間30分圏内に450万人。
- ・電車は1時間に1本のため、地域内交通は自家用車が基本。
- ・都市部で盛んなIT/WEB、クリエイティブ系の会社は少なく、流行りの古民家スペースやワーケーション施設は少ない。
- ・全国的には20-30世代の移動が全年代の6割を占める。
- ・農業の繁忙期は、らっきょう5-6月、さつまいも7-9月、だいこん11-3月。アルバイトを繁忙期に募集している。
- ・市民アンケート結果:
【鳴門市の良いところ】1位自然・海、2位他県へのアクセス、3位特産物・海産物
【鳴門市に不足しているところ】1位交通が悪い、2位娯楽施設や店がない、3位活気がない



鳴門市長 泉理希



10月29日(土)

<フィールドワーク>

「ばんどう門前通り」「竜宮の磯」「大道銀天街」
など市内の山エリア、海エリア、市街地エリア

<ワークショップ>

塩見直紀 氏、「半農半X」実践者による講演・
パネルディスカッション
チーム単位で意見交換



10月30日(日)

<農業体験>

JA里浦ファームでの農作業体験

<料理体験>

収穫した農産品を使用して料理

<「なるコン」プレゼン発表>

チーム単位で本市での「半農半X」推進
について発表



建築家 内藤 廣 講演会 「新庁舎がめざすもの・鳴門のこれからのまちづくり」の開催

企画総務部 特定事業推進課

鳴門市新庁舎の設計を手掛け、また、「鳴門市未来のまちづくり計画策定検討会」の会長である建築家の内藤 廣 氏による講演会を開催します。

◆日時

令和4年12月11日(日) 13:30～15:10 (受付時間 12:30～13:20)

◆場所

うずしお会館2階 第1会議室 (鳴門市撫養町南浜字東浜165-10)

◆定員

150名(要申込) ※申込数が定員を超えた場合は抽選を行います。

◆申込期間

令和4年11月1日(火)～令和4年11月25日(金)

申込方法は広報なると11月号もしくは市HPをご確認ください。



内藤 廣
(建築家・東京大学名誉教授)



鳴門市新庁舎イメージパース